

【単元の授業計画】

授業日時	時間	学習内容	生徒の活動	学習過程(使用教材)
11月1日(木) 13:15~14:05	1	私たちと 銀行のかかわり	・融資を受ける際の信用について 理解を深める。	・融資を受けるために信用をどのよう にして得るかを学習する。 「あなたと銀行のかかわり」
11月2日(金) 8:40~9:30	2	ひとり暮らしに かかる費用	・ひとり暮らしにかかる費用を計算 することで、家計管理をシミュレ ーションできる力を身に付ける。	・ひとり暮らしの家賃、食費諸々の計算を する。 ・家計管理アドバイザーとして、ある社会人 の家計診断をする。 「AL型授業プログラム家計管理編」
11月8日(木) 13:15~14:05	3	世界・日本の キャッシュレス化	・世界・日本でキャッシュレス化が 進んでいることを理解する。 ・キャッシュレス決済の仕方、カー ドの種類を理解する。 ・キャッシュレス決済の良い点・注 意点を理解して、自身の使い方 を考察する。	・キャッシュレス化の現状を知る。 (H30 経済産業省「キャッシュレス・ビジョ ン」) ・キャッシュレス決済の種類を知る。 「マナブとメグミのお金のキホン BOOK」
11月9日(金) 8:40~9:25	4	多重債務の 危険性	・キャッシュレス化が進められる中 で、多重債務問題について理解 する。 ・多重債務は誰でも陥る可能性が あるため、その対応策を考察で きる力を身に付ける。	・多重債務に対する危機感と対策に ついて学ぶ。 「AL型授業プログラム多重債務編」
11月15日 (木) 13:15~14:05	5	生涯設計を 考える	・将来設計について考察すること で、これからの職業選択、家計 管理ができるようになる。	・生活設計・マネープランゲームを実施 する。 「生活設計・マネープランゲーム」

【単元の評価基準】

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 知識・理解
現在の日本の経済状況に関心を持ち、自らの将来設計・家計管理について考察をしようとしている。	誰でも多重債務に陥る可能性があることを知り、陥った場合の対応策、陥らないようにするための方策をグループで話し合い、表現できる。	ひとり暮らしにかかる費用の計算やマネープランゲームを通して、家計管理や将来設計の参考に役立てることができる。	現在、世界、日本でキャッシュレス化が進行していることを理解する。 また、キャッシュレス化が進められる中、多重債務問題についての理解を深める。

【指導の評価と計画】

時	【ねらい】学習活動	評価の観点				評価基準・評価方法
		ア	イ	ウ	エ	
1 (1時間)	・将来、何か新しいことを始めようと考え、資金が足りない時、金融機関から融資を受けて補填することが考えられるが、その際の信用が公共性・経営理念・返済能力などの観点で評価されることを理解する。	○	○	○	○	・融資を受ける際の信用について理解しているか。 ・銀行の三大業務を理解しているか。 ・グループで協力してワークシートに取り組んでいるか。
2 (1時間)	・ひとり暮らしにどれだけの支出が発生するかを理解し、家計管理ができるようになる。	○		○		・他者の家計を確認し、家計管理アドバイザーとして、適切な指摘ができているか。
3 (1時間)	・世界・日本でキャッシュレス化が進んでいることを理解する。 ・キャッシュレス決済の良い点・注意点を理解し、自身の使い方を考察する。	○	○		○	・キャッシュレス決済の種類と、それぞれの特徴の違いを理解しているか。 ・グループで協力して、キャッシュレス決済の良い点・注意点の意見を出しているか。
4 (1時間)	・なぜ多重債務に陥ってしまうのかを理解し、陥った際の対応策を考察する。	○	○			・多重債務問題について関心を持ち、対応策をグループで話し合っているか。
5 (1時間)	・生活設計・マネープランゲーム体験を通して、さまざまな出来事に計画性を持って臨む必要性を理解する。	○		○		・今後、ひとり暮らしをしていくにあたり、これまで学習してきたことを生かし、職業選択や将来設計ができているか。